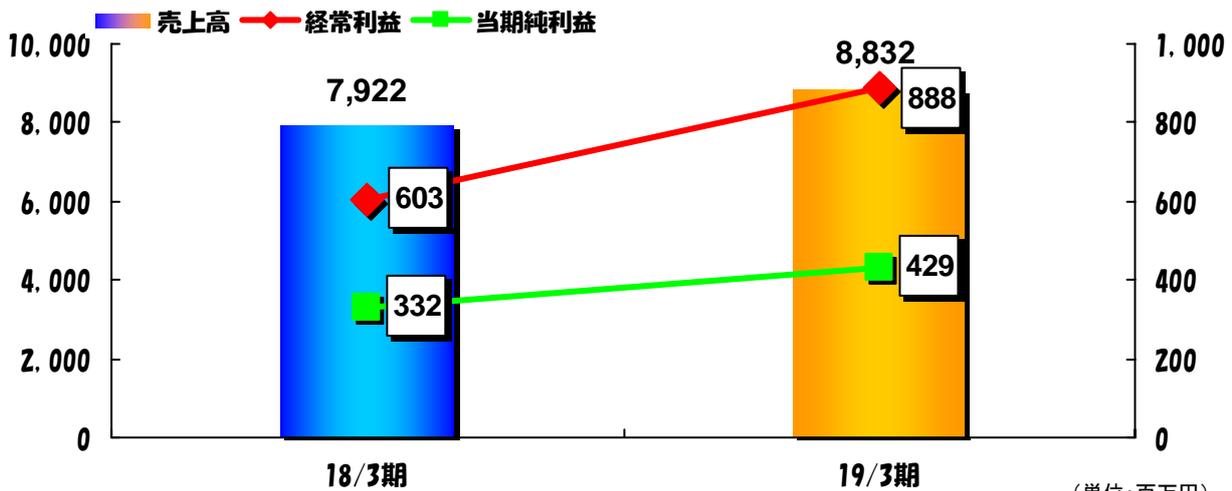


皆様、ソフトクリエイトのマンスリーニュースをお読み頂きありがとうございます。今月号は本日発表いたしました平成 19 年 3 月期の決算発表に関するご報告を中心にお知らせいたします。

1. 平成 19 年 3 月期決算報告

(1) 平成 19 年 3 月期決算の概況

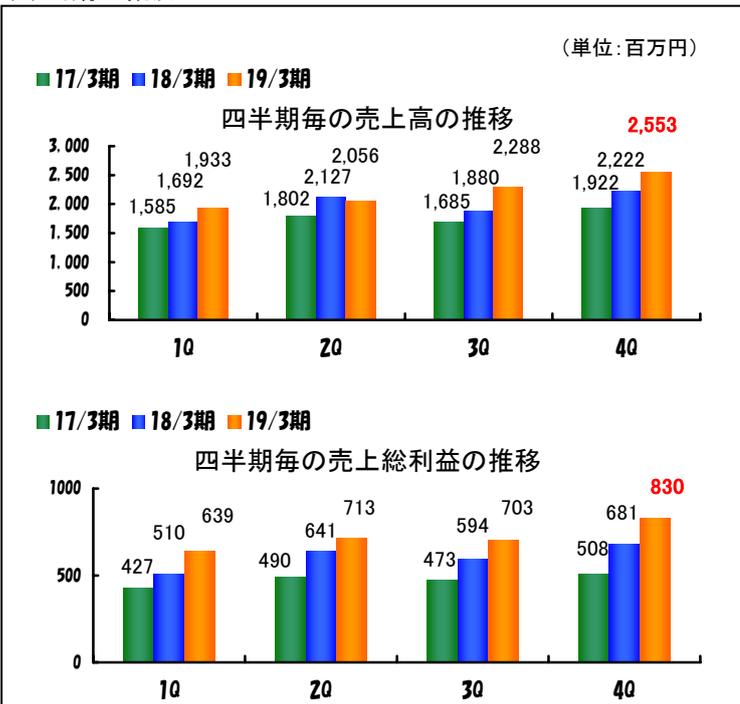
平成 19 年 3 月期決算が確定いたしました。売上高は前年同期比 11.5%増の 88 億 32 百万円、経常利益は同 47.2%増の 8 億 88 百万円、当期純利益は同 28.9%増の 4 億 29 百万円となり、当期も好調な業績伸長を果たすことができました。



(単位: 百万円)

	18/3 期		19/3 期				
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	計画	計画比
売上高	7,922	100.0%	8,832	100.0%	111.5%	8,500	103.9%
売上総利益	2,426	30.6%	2,886	32.7%	119.1%	2,750	105.1%
営業利益	612	7.7%	829	9.4%	135.4%	806	102.7%
経常利益	603	7.6%	888	10.1%	147.2%	830	107.0%
当期純利益	332	4.2%	429	4.9%	128.9%	450	95.3%

(2) 当期の概況



平成 19 年 3 月期通期の業績は、主力製品である EC サイト構築パッケージ「ecbenig」やウェブフォーム・ワークフロー「X-point」といった収益性が高いプロダクト系 SI サービスが引き続き好調で、全社業績の伸張に大きく寄与いたしました。

「ecbenig」は、EC 市場がますます拡大し、企業の EC サイト構築需要は引き続き旺盛であること、また「X-point」は日本版 SOX 法を見据えた内部統制システムの構築需要の増加を受けて、共に販売を伸ばしました。これらの結果、プロダクト系 SI サービスを含むシステムインテグレーション事業売上高は、前期比 13.7%増の 54 億 61 百万円(全社構成比 61.8%)となり、同売上総利益は 25 億 35 百万円(全社構成比 87.8%)となりました。収益性の高いシステムインテグレーション事業が伸びたことから全社の売上総利益率は前期比 2.1 ポイント増の 32.7%に向上しました。

経常利益は、売上総利益の増加や借入金及び社債の支払利息がゼロになったこと等により、8 億 30 百万円となり、経常利益率は前期比 2.5 ポイント増の 10.1%となりました。

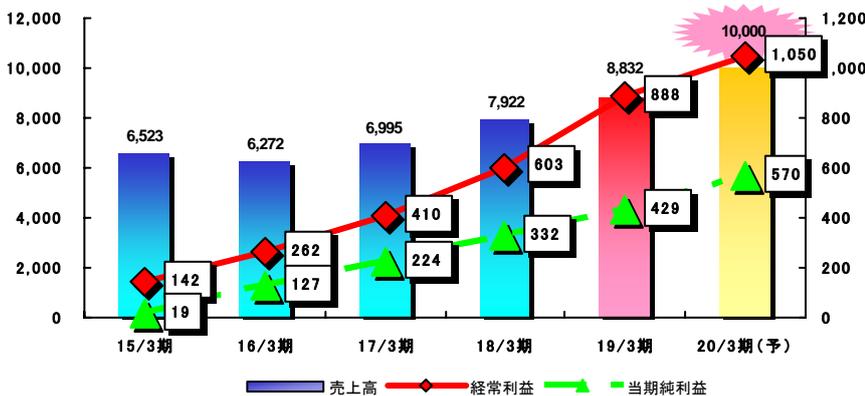
★「平成 19 年 3 月期決算短信(非連結)」は、当社ホームページよりご覧頂くことができます。下記アドレスをご参照ください。
 →IR 投資家情報「IR ライブラリ」(<http://www.softcreate.co.jp/ir/library.php>)

2.平成 20 年 3 月期業績見通しについて

今期平成 20 年 3 月期は、プロダクト系 SI サービスを中心としたシステムインテグレーション事業の牽引により、**売上高 13.2% 増の 100 億円**を計画しております。経常利益は 18.2%増の 10.5 億円、当期純利益は 32.9%増の 5.7 億円と、売上高 100 億円突破に加え、更なる収益拡大を図ってまいります。

事業拡大の牽引役である「ecbeing」は、高品質なシステムの提供をベースに、マーケティングや運用ノウハウのコンサルティングまで踏み込んだ『EC トータルソリューション』を提供することにより、顧客の EC ビジネスの発展に寄与し、競合他社との差別化を図ってまいります。また、4 月 1 日より分社化によって設立した子会社(株)エイトレッドの「X-point」は、内部統制システム構築の需要拡大という背景のなか、住友商事グループの住商情報システム(株)とのアライアンスによる販売体制の強化により、同社のシステムを導入している優良顧客企業 3,000 社及び住友商事グループ各社への販売を推進し、事業拡大を図ってまいります。

〈業績の推移及び 20/3 期の見通し〉 (単位:百万円)



〈20/3期計画と前期実績対比〉

売上高 13.2%増
経常利益 18.2%増
当期純利益 32.9%増

※15/3期、16/3期及び20/3期(予)は連結業績です

3. 当社代表取締役会長より

皆様、平素よりソフトクリエイトをお引き立てくださり、誠に有難うございます。

本日発表いたしました平成 19 年 3 月期決算は、上場以来順調に業績を伸ばすことができ、かねてより目標としておりました売上高 100 億円、経常利益 10 億円の達成まであと一歩となりました。今後も引き続き更なる成長を果たすためには、刻一刻と変化する市場のニーズをいち早く捉え、当社自身が迅速に変化していかなくてはなりません。当社の成長ビジネスの牽引役である「ecbeing」は、まさにその提供体制の更なる強化のため、事業本部内に機能別に分類したユニット制を導入し、また「X-point」は事業部門を子会社として分社化するなど、迅速に顧客ニーズに対応が可能となるよう、体制を整備・強化してまいりました。

株主・投資家の皆様のご期待に添えますよう、今後も引き続きプロダクト系 SI サービスを中心とするシステムインテグレーション事業を推進し、業績拡大に努めてまいります。



代表取締役会長兼 CEO
林 勝

4. IR 活動予定

5 月 16 日(水) 機関投資家・アナリスト向け決算説明会 (日本証券アナリスト協会主催:東証 6F 同協会会議室) 13:30~
 6 月 26 日(火) 定時株主総会開催 (予定)
 有価証券報告書提出 (予定)